

日本天文学会2014年秋季年会のお知らせ

2014年秋季年会は、2014年9月11日(木)から9月13日(土)までの3日間、山形大学小白川キャンパス(山形県山形市)にて開催します。

(1)年会参加費, 講演登録費, および年会予稿集代について

2011年秋季年会より, 講演登録費は, 講演申込時にお支払いいただくことになっております。

・料金表

項目	会員	非会員	備考
参加費	3,000 円(不課税)	5,000 円(消費税込み)	講演ありの場合, 参加費は無料
講演登録費	3,000 円(不課税)	10,000 円(消費税込み)	(1講演につき)
講演予稿集	2,000 円(消費税込み)	2,000 円(消費税込み)	

※会員として年会に参加を希望される方は, 講演申込時までに, 必ず入会の手続きを済ませてください。

講演申込時点での会員種別で, 料金をお支払いいただくこととなりますのでご注意ください。

※講演申込をされた方は, 以下に記す支払期間内に必ず料金をお支払いください。

※事前にお支払いがない場合は, 会員4,000円, 非会員11,000円の講演登録費をお支払いください。

※講演なしで参加のみの場合は, 従来どおり, 当日年会受付にて参加費を現金でお支払いください。

※クレジットカード会社, 金融機関の利用明細をもって, 本学会の領収書とさせていただきます。

※当日年会受付でお渡しする名札で, 年会の参加証明といたします。

・講演申込時にお支払いいただく料金

会員: 講演登録費 3,000円 (1講演につき)

非会員: 講演登録費 10,000円 (1講演につき)

※講演予稿集は, 予稿集付き会費を支払われている方には事前にお送りします。

それ以外の方で講演予稿集が必要な方は, 年会当日現金で購入するか, 上記金額に2,000円を足してお支払いください。原則年会会場でお渡しします。

※お支払いいただいた講演登録費は, 原則として返金いたしません。

・支払期間

2014年6月1日(日)～ 6月20日(金)

・支払方法

●原則クレジットカード支払となりました。

<http://www.asj.or.jp/credit/2014b/> より決済の手続きをしてください。

(取り扱いカードは, VISA, MasterCard の2種類です。)

支払期間中に必ず手続きを済ませてください。

※クレジットカード決済代行サービス(アナザーレーン)を利用しております。

※クレジットカード支払が困難な方は, 支払期間内に銀行振込, 現金書留, 学会事務所へ現金持参でお支払いください。

●銀行振込

銀行名: 三菱東京UFJ銀行

支店名: 三鷹支店

口座番号: 普通4434400

口座名義: シャダンホウジンニホンテンモンガクカイ

※振込人の名前の前に, 会員番号(非会員の方は9999)をお書きください。

(2) 受付期間および連絡先

事 項		受付期間・期限	関連項目
講演申込	郵 送	2014年6月16日(月) 必着	(3)、(4)、(5) 参照
	電子メール	2014年6月10日(火) 正午～6月17日(火) 正午 ^(注1)	
講演登録費支払期間		2014年6月1日(日) ～6月20日(金)	(1) 参照
複数講演の順序指定		2014年6月24日(火) 正午まで	(6) 参照
ポストデッドライン・ペーパー		2014年8月26日(火) 正午まで	(7) 参照
最新情報コーナー		2014年9月2日(火) 正午まで	(8) 参照
保育室の利用申込		2014年8月12日(火) 正午まで	(9) 参照
講演の変更など		わかった時点ですぐに	(10) 参照
各種の会合申込		2014年6月24日(火) 正午まで ^(注2)	(11) 参照
特別セッションの企画 招待講演・特別講演の講演者推薦		秋季年会では原則開催しません	(12) 参照
正会員用展示ブース		2014年6月3日(火) 正午まで	(13) 参照
懇親会の会期前申込		2014年9月2日(火)まで	(14) 参照
旅費一部補助		2014年6月17日(火) 必着	(15) 参照

(注1) 電子メールの自動受付は2014年6月18日(水)午前9時まで行いますが、2014年6月17日(火)正午以降はトラブルへの対応は一切いたしませんので、原則として2014年6月17日(火)正午までに投稿してください。なお電子メールでの投稿アドレスはダウンロードするパッケージ内のreadme.txtにあります。

(注2) 2014年6月24日(火)の受付期限を過ぎた場合、年会予稿集に案内は掲載できませんが、2014年8月26日(火)正午まで申込みを受け付けます。

連絡先

◆年会実行委員会・年会係 e-mail:committee2014@nenkai.asj.or.jp

委員長 宮田隆志(年会実行理事・東京大学)

電話: 0422-34-5084 FAX:0422-34-5041

年会係 長谷川直子(日本天文学会)

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係
電話:0422-31-5488 FAX:0422-31-5487

◆年会開催地理事 滝沢元和(山形大学)

〒990-8560 山形県山形市小白川町 1-4-12

e-mail:takizawa@sci.kj.yamagata-u.ac.jp 電話:023-628-4550 FAX:023-628-4567

年会開催期間(2014年9月11日～13日)の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

年会のWebページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/>

(3)分野と「企画セッション」

- 講演分野は次の19分野です。
J1.高密度星(BH・NS), J2.高密度星(WD・GRB・その他), K.超新星爆発, L.太陽系, M.太陽, N.恒星,
P1.星・惑星形成(星形成), P2.星・惑星形成(系外惑星), Q.星間現象, R.銀河, S.活動銀河核,
T.銀河団, U.宇宙論, V1.地上観測機器(電波), V2.地上観測機器(その他),
W1.飛翔体観測機器(X線・γ線), W2.飛翔体観測機器(その他), X.銀河形成, Y.天文教育・その他
- 「企画セッション」は次の3件です。
A.「Solar-Cで探る新しい太陽物理学とその広がり」(略称:Solar-C)
世話人:草野完也(名古屋大学), 横山央明(東京大学), 柴田一成(京都大学), 原弘久(国立天文台),
清水敏文(ISAS/JAXA), 今田晋亮(名古屋大学), 寺澤敏夫(東京大学), 永原裕子(東京大学),
竹田洋一(国立天文台)
B.「電波及び光赤外線での大学間連携」(略称:大学間連携)
世話人:藤澤健太(山口大学), 関口和寛(国立天文台), 他
C.「星間水素の相転移を軸とする新たな天文学」(略称:星間水素)
世話人:立原研悟(名古屋大学), 大西利和(大阪府立大), 半田利弘(鹿児島大), 田島宏康(名古屋大),
福井康雄(名古屋大)
- 企画セッションは, 世話人から依頼される講演と通常の講演, 議論の時間などから構成され, その割り振りは世話人が決めます. 講演者は世話人に対して講演申込みを行います. tennetなどに流れる世話人からのアナウンスに注意し, 講演申込みの際は世話人からの指示に従ってください.

(4)講演の形式

- (a)口頭講演(9分間の口頭発表と3分間の質疑応答); (b)ポスター講演・口頭発表付き(ポスターと3分間の口頭発表); (c)ポスター講演・口頭発表なし(ポスターのみ)の3種類を予定しています. 講演時間は講演数によって変更することがあります.
- 講演者1人あたり可能な講演数は最大3件までです. また, (a)講演は1人1講演までで, 3件目の講演は(c)講演(ポスターのみ)に限ります.
- 口頭発表用にプロジェクトを用意します. プロジェクトに接続するパソコンはご自分でご用意ください.
- ポスター1枚あたりのボードの大きさは, プログラムに掲載します. (通常は縦180cm, 横90cmです.)

(5)講演の申込方法

◆郵送による申込みの場合

- 規定の原稿用紙に記入し, 封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上, 日本天文学会年会係までお送りください.
- 規定の原稿用紙は申込講演数と送付先を明記の上, e-mail または FAX で天文学会年会係まで請求してください.

◆電子メールによる申込みの場合

- 年会の Web ページに掲載します. 申込方法は readme.txt をお読みください.

※講演は完成度の高いものに限り, 予稿の紙面を有効利用してください. 予稿集は広範な読者が読むことを想定し, (i)十分な背景説明を行うこと, (ii)研究内容や結果・考察について具体的記述を含めること, の2点を心がけてください. これらに留意すれば, 大抵は10行以上の予稿になるはず.

以上のような配慮に欠ける極端に短い予稿など不適切な講演申込は, 受理しない場合があります.

※年間予約をいただいている予稿集は事前配布となっており, 2014年8月20日付で発行する予定です. 年会の web ページでも発行と同時に内容が公開されます. 公開後は講演の内容がメディアによって紹介されることもありえます. 出版前の論文, 特許に関係した論文等の講演をする際などは, 十分ご注意願います.

※講演者は必ずしも筆頭著者でなくても結構です. 講演登録費はこの講演者が支払ってください.

(6)複数講演の順序指定

・グループ等で複数の講演を指定した順序で続けたい場合は、申込み後、期限内に下記1, 2を明記し、年会実行委員会宛にご連絡ください。

1. 受付番号(分野, 発表形式を含む番号), 2. 講演者名

・(b)講演は3件一括りが原則です。3件に満たない場合は、最初か最後に並べてください。また、ご希望に添えない場合もありますのでご承知おきください。なお、講演日時に関する要望は一切受け付けられません。

(7)ポストデッドライン・ペーパー (PDL)

・PDL は、緊急性・トピックス性に富んだ内容について、年会のメ切後にも講演を受け付ける制度です。約半年後の次の年会まで待つことができない明確な理由(個人・グループの事情は不可)が必要です。

・申請される場合は上記の理由を明記の上、年会実行委員会までお問い合わせください。申請頂いた内容は年会実行委員会で審査し、受理の可否を判断いたします。なお、通常の申込みよりも受理の基準がかなり厳しくなります。

・PDL の講演方法は、(b)ポスター講演・口頭発表付き(ポスターと3分間の口頭発表)、または(c)ポスター講演・口頭発表なし(ポスターのみ)です。ただし、プログラムに余裕がない場合は(c)講演になります。

(8)最新情報コーナー

・最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、PDLより緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等にも掲載されません。発表の形式はポスターのみです。

・掲示を希望する場合は、掲示内容の概要と掲示者の情報を年会実行委員会に事前に申請ください。

・スペースが無くなれば受け付けを終了することがあります。

(9)年会会期中の保育室

・保育室を設置する予定です。詳細は年会のWebページに掲示します。不明な点は年会実行委員(保育室担当)へe-mail(hoiku2014@nenkai.asj.or.jp)でお問い合わせください。

(10)講演のキャンセルや変更

・やむをえず講演をキャンセルしたり、講演者を変更する場合は、年会実行委員会にて承認の手続きが必要になります。キャンセルや変更する理由を添えて速やかに年会実行委員会まで連絡してください。ただし、キャンセルは極力避け、可能な限り代理講演者を立ててください。

・講演登録者は、講演申込み後にキャンセル等しても講演登録費の返金はありません。

(11)年会時の各種会合

・会合などのために講演会場を使用したい場合には、年会のWebページ<http://www.asj.or.jp/nenkai/>よりお申ください。会合が開けるのは、会期中の昼休み時間に限ります。

・申込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

(12)特別セッション・特別講演・招待講演

・多くの会員が関心を持つ話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則として同時に他のセッション等を行いません。また、多くの会員が興味を持つテーマについて講師を依頼する「特別講演」や「招待講演」も時間が確保できれば行います。しかし、2008年からは時間の都合上、秋季年会では原則として開催しないことになっています(春季年会でのみ開催)。特別の事情があって開催を希望される場合は、年会実行委員会までご相談ください。

(13) 正会員用展示ブース

- ・正会員用の展示ブースのスペースを設けます。展示を希望される場合は、ブース名・趣旨・世話人(正会員3名以上)を記載して、期日までに年会実行委員会までお申込ください。面積は1区画2×2m～3×3m(開催地の事情により異なる)、参加費は50,000円となります。

(14) 懇親会

- ・懇親会は、年会 2日目にあたる 2014年9月12日(金)夜に、山形市内のホテルキャッスルにて開催予定です。会費は日本天文学会員・非会員共に、一般5,000円、学生3,000円の予定です。会期前に参加の申し込みをされた上で、会費は学会会場の受付にて現金でお支払ください。
- ・会期前申込みは、後日tennetでお知らせするWebページからお申込みください。締切は、2014年9月2日(火)までとさせていただきます。
- ・懇親会の開催準備のため、参加を希望される方は、できるだけ会期前申込みをご利用ください。学会開催期間中の当日券の販売は、若干数しかご用意できません。また、事前に会場の定員を超えた場合は、当日券の販売はいたしません。

(15) 旅費一部補助

- ・日本天文学会では、正会員(学生)に年会出席旅費(交通費)の一部補助を行っております。希望者は、年会のWebページ <http://www.asj.or.jp/nenkai/> をご覧ください。

宮田隆志 (年会実行委員長)